

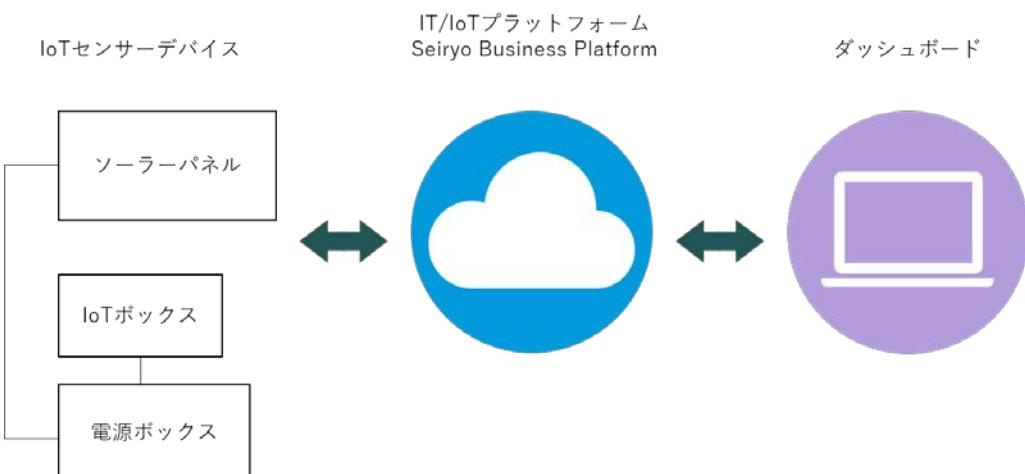
IoTセンサーデバイスがソーラーパネルシステムに対応

～農業、工場、公共設備など屋外で電源がとれない場所で IoT が始められます～

IT/IoT のシステム開発を手掛ける西菱電機株式会社（本社事務所：大阪府大阪市、代表取締役社長：西井希伊、以下「西菱電機」）が提供する IoT センサーデバイス「IoT ボックス」が、2019 年 7 月 31 日より、ソーラーパネルシステムに対応いたします。屋外で電源のないところに設置されたモノの情報を無線でインターネットに接続することは難しく、IoT の利用を諦めていたような場所でも、ソーラーパネルシステムを利用することで、電源がいらなくなり、設置場所を選ばないので、温度、湿度、土壤温度、土壤湿度、CO₂などの環境データの収集ができるようになります。

■ IoT ソーラーパネルシステム

【構成】



【想定される顧客の課題】

- ・商業施設、工場敷地内など民間施設で、アナログで計測・記録していたデータを日次で自動収集したい
- ・ダム、河川、山間部など公共設備周辺で、職員が現地に出向かず自動的にデータを収集したい
- ・果樹園、ハウス栽培など屋外で電源のとれない場所で、環境データを収集したい
- ・農作物の成長に合わせて、IoT センサーデバイスの設置場所を変更したい
- ・メンテナンスに手間がかかる機器を導入したい

【特長】

- ・ソーラーパネルの利用とバッテリーの内蔵により、屋外などの電源がない場所でも利用できます
- ・電源がいらない構造になっているので、設置場所の変更ができます
- ・バッテリー交換がいらないので、メンテナンスが容易です



■ IoT ボックスとは

IoT センサーデバイス「IoT ボックス」は、無線通信方式により、3 つのモデルがあります。モデルは、 WiFi を使用するモデル、携帯電話と同じ移動体通信の 3G を使用するモデル、 IoT に最適だと言われている LPWA (省電力広域ネットワーク) の規格の一つの LoRaWAN を使用するモデルです。 IoT ボックスには標準で温湿度センサーが装備されています。農業でご利用のお客様向けに、オプションで、取替式土壤センサー、 CO2 センサーを提供しています。取替式土壤センサーの特長は、 IoT ボックスと土壤センサーを分離して設置ができるので、例えばハウス内の日の当たる場所の環境データを取得したいなど用途に応じて柔軟な設置ができ、センサーは腐食しても取替えられるので経済的です。

■ 「Seiryō Business Platform (SBP)」とは

「Seiryō Business Platform (SBP)」では、「IT で仕事をポジティブに、そして生活を豊かに」をアウトカムとして、業務効率化や生産性向上のためのサービスを提供しています。例えば、産業機械の稼働状況の可視化、圃場の環境の可視化、社内の屋内環境の可視化などの IoT サービスや、日報・業務報告アプリ「Check-in (チェックイン)」、IP トランシーバーアプリ「Transceiver (トランシーバー)」、インカムアプリ「Incom+ (インカムプラス)」などのコミュニケーションサービスをご利用いただけます。

■ 「Seiryō Marketplace」とは

Seiryō Business Platform に関する製品やサービスをオンライン上で購入することができます。導入事例、カタログなど Seiryō Business Platform に関する情報がいつでも入手できる他、今後は、開発者ブログやホワイトペーパーの掲載など、 IoT や業務効率化に関する役立つ情報を発信していきます。

オンラインストア URL : <https://marketplace.seiryoelectric.com>

【本件に関するお問い合わせ先】

西菱電機株式会社 本社事務所：大阪市北区堂島 2-4-27 新藤田ビル

広報グループ（本社事務所）TEL：06-6345-4160

事業開発本部（東京支社） TEL：03-5777-3944 E-mail：info@cs.seiryodenki.co.jp